

事業報告書

事業名	SDGs に関するソーシャルワークからの貢献 (1)事業 1(SDGs 11& SDGs 13) 「住み続けられるまちづくりを & 気候変動に具体的な対策を」 若手ソーシャルワーカーの人材育成とアジア太平洋地域のネットワーク強化・プラットフォーム構築 (2)事業 2(SDGs 3) 「すべての人に健康と福祉を」 滞日外国人等の医療・メンタルヘルスに対応したソーシャルワークの構築
事業の実施状況	1:事業目的 近年、SDGsにソーシャルワーカーとしていかに取り組むか、ということは国内外において多く議論されている。今年度は日本のソーシャルワーカーに対し、SDGsの視点から 2 つの事業を企画・実施した。 (1)事業1について 事業1は、これまでのアジア太平洋地域の若手ソーシャルワーカーの人材育成と国際交流を目的に実施されてきた事業の再開である。2023 年11 月に開催される第27 回アジア太平洋ソーシャルワーク大会に、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)アジア太平洋地域会長と日本から若手ソーシャルワーカーを派遣した。 特にプレワークショップでは、若手ソーシャルワーカーによる自然災害・人的災害の子ども・家族へのソーシャルワークのあり方が提示され、多くの自然災害を経験し、その際にソーシャルワーク支援を展開してきた日本からの実践報告や先駆的な実践方法が提案された。 こうした場に日本のソーシャルワーカーが参加し、日本のソーシャルワーク実践について共有し、他国のソーシャルワーカーとのネットワークを構築することにより、今後、気候変動や難民・移民等に関するグローバルな取り組みが一層求められる社会において活躍することのできるソーシャルワーカーの育成につながると考える。 (2)事業 2 について 事業 2 は、世界ソーシャルワーク・デーに関連した研修である。今年度は日本国内で生活している滞日外国人等の健康的な生活に焦点をおき、身体とメンタルヘルスの双方からのソーシャルワークについて必要な知識・技術を獲得できる研修を実施した。「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」の達成のためには、国内において日本人だけではなく、日本人とともに日本で生活している多くの外国人等に対するソーシャルワーカーの対応がより重要になる。しかし、日本のソーシ

	ャルワーカーの多くがその知識・技術を十分に有しているとは言い難いということは、過去の調査やシンポジウム参加者からの声から明らかである。そこで、健康的な生活を確保するために重要になる医療面に焦点を当て、日本国内のソーシャルワーカーを対象としたワークショップを開催した。 2:事業スケジュール (1)事業 1 <u>2023 年</u> 6 月 対象者選考条件・参加要項の検討 7 月 対象者募集広報開始 8 月 応募締め切り 9 月 対象者選考 11 月 アジア太平洋合同地域大会出席 レポート提出 (2)事業 2 <u>2023 年</u> 9 月～ 隔月、日本ソーシャルワーカー連盟内の国際委員会を開催。 研修内容や講師を検討。 10 月～ 内容・講師を決定、4 団体それぞれで講師を分担 研修内容打ち合わせなど実施。 研修会場の確定。 12 月～ 録画業者合い見積もりの上確定。 <u>2024 年</u> 1 月～ チラシ完成、広報開始。 講師との詳細打ち合わせ、プレゼンテーションスライド等資料作成依頼 2 月～ 研修申込受付開始。 ※より多くの参加者を募るために募集要項を再検討し、学生参加者は無料と変更。 3 月 研修実施、完了報告書類作成・提出。当日の録画を編集。 3:事業実施体制 運営の実施は、当連盟の今年度幹事団体である日本医療ソーシャルワーカー協会の国際委員および事務局職員を中心に行った。 4:事業実施状況 (1)事業 1 について 日本ソーシャルワーカー連盟国際委員会で検討し、下記 2 名の派遣とした。 1. 小原真知子氏（国際ソーシャルワーク連盟アジアパシフィック地域会長、日本ソ
--	---

ーシャルワーカー連盟 国際委員長、日本医療ソーシャルワーカー協会 副会長)
2. 三品竜浩氏 (精神保健福祉士、法務省 仙台保護観察所 社会復帰調整官)

(2)事業2について

① ワークショップの実施

3月9日(土)に日本女子大学目白キャンパスにおいて対面の研修を行った。数年ぶり対面研修の実施であったが、当日は36名の参加となった。研修の詳細は下記の通りである。

日 時: 2024年3月9日(土) 10:00~16:30

参加者: 一般申込者 36名

会 場: 日本女子大学 目白キャンパス 百二十年館

内 容:

第1部

「滞日外国人等と包括的理解とソーシャルワーク」
(アイスブレイク+講義+ケーススタディー)

講師:東海大学 国際学部 教授 小貫大輔 氏

第2部

「滞日外国人等の医療とソーシャルワーク」(講義+グループワーク)

講師:港町診療所 所長 沢田貴志 氏

第3部

「滞日外国人等のメンタルヘルスとソーシャルワーク」(講義+グループワーク)

講師:大正大学 教授 鶴川晃氏

※講義については、録画ビデオを作成し、YouTubeで公開予定。

② 成果物の公表

事業2のワークショップについては、講義部分については講師に了解を得て1年間、日本ソーシャルワーカー連盟ホームページ(<https://jfsw.org/>)にて配信する予定である。